

日本原子力学会 春の年会
「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会、社会・環境部会
合同企画セッション

2023. 3. 1 社会・環境部会

[1F_PL] 「総合知」の視点と原子力利用の諸課題－「風評」問題をめぐって

2023 年 3 月 13 日(月) 13:00 ～ 14:30 F 会場 (12 号館 3F 1232)座長:土田 昭司 (関西大)

- (1)委員会設立の狙いと活動の経過報告 (JAEA)佐田 務
- (2)「風評」問題に関する検討状況の報告(東京電機大) 寿楽 浩太
- (3) 風評被害のメカニズム－東京電力福島第一原子力発電所事故後のリスクの社会的増幅
(東大) 関谷 直也 先生
- (4) 総合討論

福島第一原子力発電所の処理水海洋放出については、「風評（被害）」問題が焦点化してきた。しかし、社会科学の諸研究は、「風評（被害）」という問題の見方そのものの限界や不都合を示している。政府の科学技術・イノベーション基本計画も、社会課題の解決のために分野をまたいだ「総合知」を活用することを掲げている。本学会では社会・環境部会が中心となり、「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会を 2022 年 4 月に設置して、「風評（被害）」問題に関する学際的な検討を開始した。本セッションでは、社会心理学者の関谷直也東大准教授の講演を交えて、これまでの検討状況と今後の検討の方向性を議論する。

以上